

補助金概要調書

補助金名	干拓地保水力向上対策事業補助金			
所管部課	経済部農林課 (TEL 23 - 5232(直通))			
補助対象者	米子市彦名干拓地営農組合			
補助開始年度	平成18年			
交付目的	彦名干拓地に堆肥を投入し、渇水時でも安定した農業生産ができるほ場づくりを推進するとともに、堆肥の需給システムを構築するため、米子市干拓地営農組合に対して、彦名干拓地のほ場に投入する堆肥代、散布代及び堆肥需給システムの構築に要する費用を補助する。			
補助金額と過去の補助実績()は一般財源額	H17年度実績	H18年度実績	H19年度実績	H20年度予算額
	()千円 千円	17,749千円 (2,667)千円	16,724千円 (2,503)千円	20,052千円 (2,954)千円
補助事業の内容	堆肥投入に係る経費(堆肥代・散布代・工事雑費・事務費)を対象に補助する。ただし単年度の投入量が10a当たり3tを超えない範囲を対象とする。			
補助事業に係る経費	補助事業の全体経費	24,096千円		
	内補助対象経費	20,052千円		
	補助対象経費の内訳	堆肥代補助	18,798千円	
		散布代補助	1,122千円	
		工事雑費	60千円	
		事務費	72千円	
補助金額の算出方法	補助率、補助額の考え方	農地への堆肥投入に係る経費(散布代含む)のうち 8,000円を超えない部分 国50% 県25% 市15% 8,000円を超える部分 国50% 工事雑費 国50% 県25% 市25% 事務費 国50% 市25%		
	限度額	無		
補助金の財源等	市単独	一般財源	特定財源 ()	
	国県等協調	直接補助	国 / 県 / 市 / その他() /	
		間接補助	補助率は上記のとおり	
補助事業の効果及び効果の検証方法等	渇水時でも安定した農業生産の出来るほ場づくり及び堆肥の需給システムの構築が図られる。 効果の検証は中間点検(平成20年1月実施)及び事後評価(事業終了時)による。			
終期の設定 (例外を適用する場合にはその理由等)	平成21年度			
その他参考事項 (過去の見直しの経過等)	17年度までの干拓地保水力向上対策事業補助金(地元負担無し)から平成18年度から地元負担を伴う地域環境保全型農業推進事業補助金に変更。			